平成31年2月18日開催市長定例記者会見資料

平成31年度に取り組む主な事業について

平成31年度に取り組む主な事業について

目次

- 1. 鈴鹿川等源流域の保全・活用
- 2。 中心的都市拠点の再生
- 3. 超高齢社会に対応した移動手段の確保
- $m{4}$ 子どもの成長を支える環境づくり
- 5。 健やかな「ヒト」づくり
- 6. 国体開催に向けた施設の充実
- 7. 地域の輝きを支える取り組み

平成31年度当初予算額

50,688千円

1. 鈴鹿川等源流域の保全・活用

「森林環境譲与税(仮称)」や「みえ森と緑の県民税」などの財源を有効活用し、 亀山の誇りである源流域等の保全・活用に対する取組をより一層推進します!

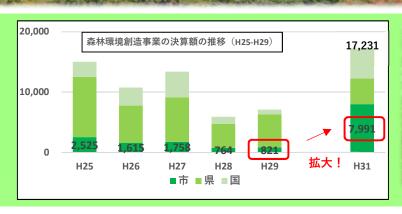
- ◆ 亀山 7座トレイル整備・活用推進事業 (3,470千円) 「亀山 7座トレイル」の整備・活用を関係団体と協働で進めます。
- ◆ 森林経営管理事業 (13,000千円) 森林環境譲与税 (仮称) を活用し、手入れの行き届いていない森林の整備を推進します。

- ◆ 林業生産活動支援事業 (13,500千円) 林業事業体が行う施業の集約化・団地化による利用間伐等 を支援します。
- ◆ みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (3,487千円)

身近な森林・里山整備等を進める団体を支援するとともに、亀山の木材とふれあう機会を創出します。 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動を中心に、源流域を守り地域への愛着を醸成します。

◆ 森林環境創造事業(17,231千円) 協定に基づく公的管理による森林整備を進めます。

> 国・県等の財源が減少するなか、 市独自に重点的に実施!





2. 中心的都市拠点の再生

平成31年度当初予算額422,950千円

市の玄関口である J R 亀山駅周辺のにぎわいづくりと活性化を図るため、 引き続き、再開発組合への支援を行うとともに、周辺道路等の整備を進めます!

- ◆ 住宅取得支援事業 (2,000千円) 居住誘導区域内における戸建住宅の取得 に対し、助成金を支給します。
- ◆ 創業等支援事業 (5,600千円) 市内での創業を目指す若者や女性を 積極的に支援し、都市拠点のにぎわい づくりを進めます。
- ◆ 都市づくり戦略推進事業 (5,700千円) (都)国道1号の都市計画決定の見直しを行います。
- ◆ 図書館整備事業 (1,280千円) 市民や有識者等の意見を取り入れながら、 管理運営計画の策定等に取り組みます。





▶市街地再開発事業2ブロック ー 補償等・除却・解体(補助金)亀山駅前線 ー 補償等(負担金)駅前広場 ー 補償等(負担金)

- ▶ 市道御幸1・6号線道路整備事業 詳細設計・用地測量
- ▶ 市道御幸 7 号線道路整備事業 ー 用地測量・補償算定
- ▶ 駐輪場整備事業 用地買収

都市機能誘導区域

▶ バスバース整備事業 ー 用地買収

など

3. 超高齢社会に対応した移動手段の確保

平成31年度当初予算額 142,737千円

超高齢社会を迎えるなか、乗合タクシー「のりかめさん」が高齢者の移動手段の一つ として定着するよう取り組みます!

◆ 地域生活交通再編事業 (118,937千円)

自立した移動手段を持たない人などの移動手段の確保や 社会参加の促進など、公共交通アクセスを確保するため、 バスや乗合タクシーを運行します。

特に、乗合タクシーについては、制度の利便性向上や、 利用促進に向けた取り組みをすすめます。

【利便性向上】

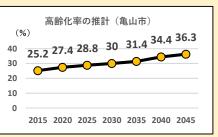
- ①運行時間の延長
- ②運行曜日の拡大
- ③特定目的地停留所の増設

【利用促進】

- ①無料体験乗車券の配布
- ⇒ 登録者全員に体験乗車券 を配布します。

事業の背景

超高齢社会が到来し<mark>運転免許の自主返納が急増</mark>する中、<mark>限られた財源</mark>を生かしながら、バスや鉄道などの既存の公共交通機関を補完しつつ、 効率的・効果的な移動手段の整備が必要。





※H30はH30.10末時点

◆ 高齢者タクシー料金助成事業(23,800千円)

乗合タクシーの利用促進等の取り組みと合わせて、 1年間延長して実施します。なお、タクシー券の申請の際に、乗合タクシーへの利用登録が必要となります。



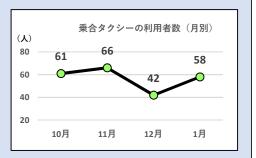




現状と課題

- ・平成30年10月に運行開始
- ・登録者数は606人。 (登録率:9.3%)
- ・平成31年1月までの延利用者数は 227人と低迷。





持続可能な高齢者の移動手段として、<u>制度に対する理解を深める</u>とともに、 <u>利用者のニーズに合わせた利便性の向上</u>が必要。

4. 子どもの成長を支える環境づくり

平成31年度当初予算額 229,993千円

<u>児童の増加等に対応するため「校舎増築」や「放課後児童クラブの整備」を進めます!</u> また、教職員の長時間労働の是正に向け、サポート体制の充実を図ります!

◆ 井田川小学校校舎増築・給食室改修事業(40,000千円)

児童数増加に伴い発生が見込まれる<mark>教室不足や給食室のスペース不足</mark>などに 対応するため、校舎の増築と給食室の改修に着手します。

種別	H31	H32
校舎増築	・設計 ・地質調査 など	・増築工事
給食室改修	・設計 ・食器洗浄機置場拡張	・ワゴンプール拡張 ・調理員トイレ増築

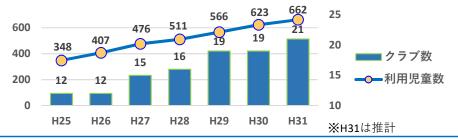


◆ 放課後児童クラブ事業(183,800千円)

放課後児童クラブの運営を行うとともに、新たに開設される2施設を含め、運営する民間事業者等への支援を行います。

また、亀山南小学校区における利用希望者の増加に対応するため、同小学校敷地内に 放課後児童クラブを建設します。

【放課後児童クラブの利用者数と施設数の推移】



◆ 教育振興事業(一般)

- ▼ スクール・サポート・スタッフの新設(1,993千円) 教員に代わって、学習プリント等の印刷や授業準備等の 補助を行う「スクール・サポート・スタッフ」を小学校に 新たに3名配置します。
- <u>か活動指導員の増員(2⇒3名)(4,265千円)</u>
 教員に代わって、中学校の部活動の指導を行う

 「部活動指導員」を2名から3名に増員します。

5. 健やかな「ヒト」づくり

平成31年度当初予算額 180,945千円

<u>健やかな「ヒト」づくりに向け、保健と医療が連携した健康施策を推進します!</u> 特に、国保データベース(KDB)の活用など、データヘルスの推進を図ります!

国民健康保険

◆ 特定健康診査・特定保健指導事業 (31,732千円) 内臓脂肪型肥満に着目した特定健康診査を実施するとともに、 改善が必要な人に対して、特定保健指導を実施します。また、 医療センターと連携し、糖尿病の重篤化予防に取り組みます。

【国保データベース (KDB) システム】 医療レセプト、介護レセプト及び特定健診等 結果データを、保険者に有用な情報を生成するシステム

連携(糖尿病の重篤化予防)

地域医療

◆ 三重大学亀山地域医療学講座支援事業 (31,200千円) 三重大学と連携し、同大学が設置する亀山地域医療学講座 への支援を行うことで、市立医療センターの医師を確保します。





(医療カフェ)

活用

健康施策全般(主な関連事業)

- ◆ がん検診推進事業(101,330千円) 胃がん、肺がん、大腸がん等の検診を実施します。 また、中学3年生を対象にピロリ菌検査を行います。
- ◆ 健康増進事業(14,322千円) 歯周病検診や骨粗しょう症等の検査を実施します。
- ◆健康づくり事業(2,361千円) 食生活改善推進協議会への支援や、 健康づくり応援隊養成講座の開催など、 地域が主体となって地域に広げる仕組み づくりを推進します。



~医療カフェ~

医師が地域の公民館等へ出向き、地域住民に地域医療や健康 などに関する講話や対話を行います。





〜健康マイレージ(353千円(再掲))〜 健康づくり活動のより一層の取り組み促進を図るため、 平成31年度に市独自の健康マイレージを制度化します。

6. 国体開催に向けた施設の充実

平成31年度当初予算額 262,400千円

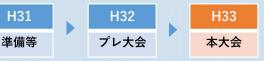
平成33年度に開催される国民体育大会に向け、会場となる西野公園を整備します! 利便性向上を図り、スポーツや健康づくりに取り組む環境づくりを一体的に推進します!

◆ 西野公園改修事業(運動施設)(186,500千円)



- ▶ 野球場整備改修工事 外野の芝全面張替・外野外周の舗装・バックネット改修 など
- ▶ 野球場周辺環境整備改修工事 バックボード・本部棟屋根の塗装 など

◆ 国民体育大会開催事業 (3,900千円) 第76回国民体育大会の開催に向け、実行委員会に 情報収集や広報啓発などを行います。



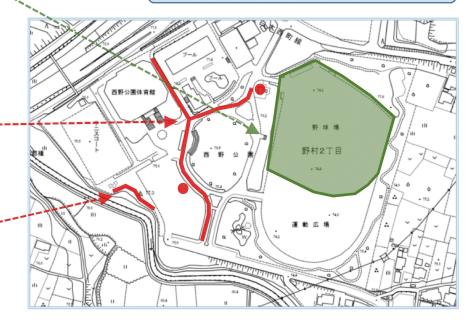
◆ 西野公園改修事業(公園施設) (72,000千円)



- ▶ 便所改修工事(2ヶ所) 洋式便器への改修など -
- ▶ 公共下水道接続工事 公共下水道への切替



▶ フェンス改修工事 フェンスの改修



7. 地域の輝きを支える取り組み

平成31年度当初予算額 54,600千円

<u>まちづくりの礎となる「地域力」を様々な分野からサポートします!</u> 地域自らが課題解決に向けて取り組む自立した地域づくりを推進します!

◆ 地域 まちづくり協議会支援事業(31,200千円)

財政面や人員面で支援し、地域まちづくり協議会の自立した地域まちづくりを支えます。

地域 まちづくり 交付金 地域活性化 支援事業 補助金

地域担い手 育成支援 アドバイザー 派遣

地域担当職員

◆ 地域 福祉力強化推進事業 (8,400千円)コミュニティソーシャルワーカー (csw) を配置し、

地域まちづくり協議会における地域の福祉課題を解決する仕組みを構築します。

◆ 地域 人材キラリ育成事業 (15,000千円)

平成31年度から市民大学(仮称)を開講し、地域の課題に取り組み活躍する 人材育成を進めます。

【亀山市における学びの体系】



※市民大学(仮称)は、人材育成・コミュニティビジネスの視点を重視

平成28年度

- ・地域まちづくり協議会条例が施行
 - ・市内全域で地域まちづくり協議会が設立

平成29年度

・地域予算制度の運用開始

平成30年度

・全域で地域まちづくり計画を策定

地域力の向上

まちづくりの礎となる地域力を強化!

【本市のまちづくりの基本方針】

市民力・地域力が輝くまちづくり